

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2020年4月23日

都道府県知事 殿

病院名 京都山城総合医療センター
開設者 国民健康保険山城病院組合
管理者 河井 規子

医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令（平成14年厚生労働省令第158号）第12条に基づき、年次報告書を提出いたします。

また、併せて、同省令第9条に基づき、1. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－1－から－5－まで及び別紙1については、臨床研修プログラム検索サイトの画面を印刷したもの（不足する項目は適宜加筆すること）等必要な項目がわかるものを代わりに添付していただいても構いません。
- ・項目番号1から25までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号26から36までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 1 －

病院施設番号： 031739

臨床研修病院の名称： 京都山城総合医療センター

記入日： 2020年 4月 21日

病院施設番号 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	031739	臨床研修病院群の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に臨床研修病院群番号を有している臨床 研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 京都山城総合医療センター 番号 031739
作成責任者の氏名及び連絡先 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ アキ トミ 氏名 (姓) (名) 荒木 友美		役職 事務局総務担当主事 (内線2902) (直通電話0774-72-0235) e-mail: sy0001@yamashiro-hp.jp (携帯電話のメールアドレスは不可とします。)
1. 病院の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ キョウトヤマシロソコウウリョウセンター 京都山城総合医療センター		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒619-0214 (京都府) 木津川市木津駅前一丁目27番地 電話：0774-72-0235 FAX：0774-72-2155 二次医療圏 の名称： 山城南		
3. 病院の開設者の氏名 (法 人の名称) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ コミンケンコウケンヤマシロビョウインクミアイ 国民健康保険山城病院組合		
4. 病院の開設者の住所 (法 人の主たる事務所の所在 地) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒619-0214 (京都府) 木津川市木津駅前一丁目27番地 電話：0774-72-0235 FAX：0774-72-2155		
5. 病院の管理者の氏名 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ カイ リコ 姓 名 河井 規子		
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 <small>(基幹型記入)</small>	* 別紙1に記入 研修管理委員会のすべての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 <small>(基幹型記入)</small>	* 別表に記入 病院群を構成するすべての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス <small>(基幹型・協力型記入)</small>	http://www.yamashiro-hp.jp/		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 2 －

病院施設番号： 031739

臨床研修病院の名称： 京都山城総合医療センター

		※
9. 医師（研修医を含む。）の員数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		常勤： 61名、非常勤（常勤換算）： 7.0名 計（常勤換算）： 68.0名、医療法による医師の標準員数： 28名 * 研修医の氏名等について様式3に記入
10. 救急医療の提供の実績 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	救急病院認定の告示	告示年月日： 1985年5月7日、告示番号： 第 305 号
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 (2) 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	(1) 有 (103.000) m ² 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数： 11,356件（うち診療時間外： 8,937件） 1日平均件数： 31.1件（うち診療時間外： 24.5件） 救急車取扱件数： 2,659件（うち診療時間外： 1,671件）
	診療時間外の勤務体制	医師： 3名、看護師及び准看護師： 2名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系 (1) 有 0. 無) 外科系 (1) 有 0. 無) 小児科 ((1) 有 0. 無) その他 ()
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 311床、2. 精神： _____床、3. 感染症： 10床 4. 結核： _____床、5. 療養： _____床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		* 別紙2に記入
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 13.6日、2. 精神： _____日、3. 感染症： 5.8日 4. 結核： _____日、5. 療養： _____日
14. 前年度の分娩件数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		正常分娩件数： 284件、異常分娩件数： 109件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	開催回数	前年度実績： 1回、今年度見込： 6回 ※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記載
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入
	剖検数	前年度実績： 1件、今年度見込： 6件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 (1) 有 0. 無 () 大学、() 病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	研修医の宿舎	(1) 有（単身用： 8戸、世帯用： _____戸） 0. 無（住宅手当： _____円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室	(1) 有 (1室) 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	図書室の広さ	(24.200) m ²
	医学図書数	国内図書： 150冊、国外図書： 20冊
	医学雑誌数	国内雑誌： 50種類、国外雑誌： 4種類
	図書室の利用可能時間	0:00 ~ 24:00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース ((1) 有 0. 無)、教育用コンテンツ (1. 有 (0) 無)、 その他 () 利用可能時間 (0:00 ~ 24:00) 24時間表記
	医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター ((1) 有 0. 無)、 その他 ()

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号： 031739

臨床研修病院の名称： 京都山城総合医療センター

18. 病歴管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	病歴管理の責任者の氏名及び役職	フリガナ ケ ジュンヤ 氏名(姓) 条 (名) 順哉 役職 事務部副部長兼診療情報管理室長		
	診療に関する諸記録の管理方法	① 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に:)		
	診療録の保存期間	(10) 年間保存		
	診療録の保存方法	① 文書 ② 電子媒体 その他(具体的に:)		
19. 医療安全管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	安全管理者の配置状況	① 有 (5 名) 0. 無 <small>有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。</small>		
	安全管理部門の設置状況	職員：専任 (1) 名、兼任 (4) 名 主な活動内容：例「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等 医療安全対策委員会の開催及び運営「医療に係る安全確保を目的とした報告で得られた事例の原因、再発防止策の検討及び職員への周知」「医療事故防止活動及び医療安全に関する職員研修の企画立案」		
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口の責任者の氏名等： フリガナ アライ マサヒロ 氏名(姓) 新井 (名) 正弘 役職 副院長兼医療安全管理部兼感染防止対策部長 兼地域医療推進部長兼消化器内科部長 対応時間 (8 : 30 ~ 17 : 15) 24時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無： ① 有 0. 無		
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	① 有 0. 無 指針の主な内容： 主にリスクマネジメント部会での分析検討内容を踏まえて、委員会で協議し、医療従事者の個人レベルでの自己防止対策と、医療施設全体の組織的な事故防止対策の2つを推進している。		
	医療に係る安全管理委員会の開催状況	年 (12) 回 活動の主な内容： 医療安全対策マニュアルを作成し、定期的に医療事故の分析及び再発防止策を検討し院内に対して啓発、教育、広報を行っている。		
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 (2) 回 研修の主な内容： ヒューマンエラー、チームステップス、アンガーマネジメント		
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策	医療機関内における事故報告等の整備： ① 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容： その他の改善のための方策の主な内容： 医療安全管理者により、院内ラウンド、各部署リスクマネージャーによりリスクマネジメント部会、事例に対するRCA分析等		
20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	修了： 1 名 中断： 0 名			
21. 現に受け入れている研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>		前々年度	前年度	当該年度
	1 年	1名	2名	2名
	2 年		1名	2名
22. 受入可能定員 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出	許可病床数 (321) 床 ÷ 10 = (32) 名		
	患者数から算出	年間入院患者数 (6,023) 人 ÷ 100 = (60) 名		
23. 当該病院からの医師派遣実績 ※募集定員を変更する場合は、別紙5も提出すること。	○ 派遣実績 → 募集定員加算 名 名 ※ 募集定員加算の人数は、報告・届出年度の翌年度の募集定員を算出する際に用いる医師派遣等の加算人数を記入すること。(記入要領25を参照) ○地域医療対策協議会等の意向の把握 (有 ・ ① 無) ※ 該当する方を○で囲むこと。			

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号：031739 臨床研修病院の名称：京都山城総合医療センター

<small>項目 25 までについては、報告時に必ず記入してください。</small>	※	
24. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 <small>(基幹型・協力型記入)</small> <small>精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。</small>		1. 精神保健福祉士： 2 名 (常勤： 2 名、非常勤： 0 名)
		2. 作業療法士： 6 名 (常勤： 6 名、非常勤： 0 名)
		3. 臨床心理技術者： 1 名 (常勤： 1 名、非常勤： 0 名)
		9. その他の精神科技術職員： 0 名 (常勤： 0 名、非常勤： 0 名)
25. 第三者評価の受審状況 <small>(基幹型記入)</small>		<input checked="" type="radio"/> 有 (評価実施機関名：日本医療機能評価機構 (R2年10月11, 12日)) <input type="radio"/> 無 <small>有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。</small>
<small>※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。</small>		
26. 研修プログラムの名称 <small>(基幹型・協力型記入)</small> <small>プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。</small>		研修プログラムの名称： プログラム番号： 031739101
27. 研修医の募集定員 <small>(基幹型記入)</small>		1年次： 2 名、2年次： 2 名
28. 研修医の募集及び採用の方法 <small>(基幹型記入)</small>	研修プログラムに関する問い合わせ先	フリガナ アキ トミ 氏名 (姓) 荒木 (名) 友美 所属 事務局総務担当 役職 主事 電話：0774-27-0235 FAX：0774-72-2155 e-mail： sy0001@yamashiro-hp.jp URL： http://www.yamashiro-hp.jp
	資料請求先	住所 〒619-0214 (京都府) 木津川市木津駅前一丁目27番地 担当部門 担当者氏名 姓 中津留 名 竜也 電話：0774-27-0235 FAX：0774-72-2155 e-mail： sy0001@yamashiro-hp.jp URL： http://www.yamashiro-hp.jp
募集方法		<input checked="" type="radio"/> 公募 2. その他 (具体的に：)
応募必要書類 <small>(複数選択可)</small>		<input checked="" type="radio"/> 履歴書、 <input checked="" type="radio"/> 卒業(見込み)証明書、 <input checked="" type="radio"/> 成績証明書、 4. 健康診断書、5. その他 (具体的に：)
選考方法 <small>(複数選択可)</small>		<input checked="" type="radio"/> 面接 <input checked="" type="radio"/> 筆記試験 その他 (具体的に：)
募集及び選考の時期		募集時期： 6月 1日頃から 選考時期： 8月 15日頃から
マッチング利用の有無		<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－５－

病院施設番号：031739

臨床研修病院の名称：京都山城総合医療センター

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

<p>29. 研修プログラムの名称及び概要 (基幹型記入)</p>	<p>概要：* 別紙3に記入 (作成年月日： 2020年 4月 21日)</p>				
<p>30. プログラム責任者の氏名等(副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等) (基幹型記入)</p> <p>* プログラム責任者の履歴を様式2に記入 * 副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式2に記入</p>	<p>(プログラム責任者) フリガナ イハラ キン 氏名(姓) 石原 氏名(名) 潔</p> <p>所属 京都山城総合医療センター 役職 副院長兼放射線科部長兼健診センター長 (副プログラム責任者) 1. 有() 名) <input checked="" type="radio"/> 無</p>				
<p>31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等 (基幹型記入)</p> <p>すべての臨床研修指導医等(協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。)について氏名等を記入してください。</p>	<p>* 別紙4に記入</p>				
<p>32. インターネットを用いた評価システム</p>	<p>1. 有() ・EPOC ・その他()) <input checked="" type="radio"/> 無</p>				
<p>33. 研修開始時期 (基幹型、地域密着型記入)</p>	<p>2018年 4月 1日</p>				
<p>34. 研修医の処遇 (基幹型・協力型記入)</p>	<p>1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 <input checked="" type="radio"/> 2 病院独自の処遇とする。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 1 常勤 2. 非常勤</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px dashed black;"> <p>研修手当</p> <p>一年次の支給額(税込み) 基本手当/月(345,904円) 賞与/年(584,577円)</p> </td> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px dashed black;"> <p>二年次の支給額(税込み) 基本手当/月(350,414円) 賞与/年(910,366円)</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>時間外手当： 1. 有 0. <input checked="" type="radio"/> 無</p> <p>休日手当： 1. 有 0. <input checked="" type="radio"/> 無</p> </td> </tr> </table> <p>勤務時間 基本的な勤務時間(8:30~17:15)24時間表記 休憩時間(12:00~13:00) 時間外勤務の有無：1. 有 <input checked="" type="radio"/> 無</p> <p>休暇 有給休暇(<input checked="" type="radio"/> 1年次：20日、2年次：20日) 夏季休暇(<input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無) 年末年始(<input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無) その他休暇(具体的に：病気休暇、忌引休暇)</p> <p>当直 回数(約 3回/月)</p> <p>研修医の宿舍(再掲) <input checked="" type="radio"/> 1 有(単身用：8戸、世帯用：0戸) 0. 無(住宅手当：)円 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舍の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</p> <p>研修医室(再掲) <input checked="" type="radio"/> 1 有(1室) 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</p> <p>社会保険・労働保険 公的医療保険() 社会保険) 公的年金保険() 厚生年金) 労働者災害補償保険法の適用(<input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無)、 国家・地方公務員災害補償法の適用(<input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無) 雇用保険(<input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無)</p> <p>健康管理 健康診断(年 1 回) その他(具体的に)</p> <p>医師賠償責任保険の扱い 病院において加入(<input checked="" type="radio"/> 1. する 0. しない) 個人加入(1. 強制 <input checked="" type="radio"/> 0. 任意)</p> <p>外部の研修活動 学会、研究会等への参加：<input checked="" type="radio"/> 1. 可 0. 否 学会、研究会等への参加費用支給の有無：<input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無</p>	<p>研修手当</p> <p>一年次の支給額(税込み) 基本手当/月(345,904円) 賞与/年(584,577円)</p>	<p>二年次の支給額(税込み) 基本手当/月(350,414円) 賞与/年(910,366円)</p>	<p>時間外手当： 1. 有 0. <input checked="" type="radio"/> 無</p> <p>休日手当： 1. 有 0. <input checked="" type="radio"/> 無</p>	
<p>研修手当</p> <p>一年次の支給額(税込み) 基本手当/月(345,904円) 賞与/年(584,577円)</p>	<p>二年次の支給額(税込み) 基本手当/月(350,414円) 賞与/年(910,366円)</p>				
<p>時間外手当： 1. 有 0. <input checked="" type="radio"/> 無</p> <p>休日手当： 1. 有 0. <input checked="" type="radio"/> 無</p>					
<p>35. 研修医手帳 (基幹型記入)</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 1 有 0. 無</p>				
<p>36. 連携状況 (基幹型記入)</p>	<p>* 様式6に記入</p>				

※欄は、記入しないこと。

(記入要領)

- 1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。
- 2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。
- 3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。
- 5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているため、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。
- 6 (基幹型・協力型記入)と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院のすべての臨床研修病院が記入対象となること。
- 7 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。
- 8 項目番号1から25までについては、年次報告において記入すること。
- 9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号26から35までについても記入すること。
- 10 ※欄は、記入しないこと。

11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。

12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成するすべての臨床研修病院、大学病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。

13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。

14 「医師(研修医を含む。)の員数」欄について

(1)「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号)に基づき、当該病院に勤務する医師(研修医を含む。)について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。

(2)「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間のすべてを勤務する者をいうものであること。

(3)「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※ 換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数 (小数第二位を四捨五入)}$$

(4)「計(常勤換算)」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。

(5)「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること(患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること。)

※ 算出式

$$\left[\frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数 (歯科の入院患者数を除く。)} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数 (歯科の入院患者数を除く。)}}{3} + \frac{\text{外来患者数 (精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。)}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数} - 52}{5} \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

(6) 当該病院の研修プログラムで研修を行っているすべての研修医の氏名等について、様式3に記入すること(歯科医師は記入しない。)

15 「救急医療の提供の実績」欄について

(1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第186号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入するものであること。

(2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。

(3)「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。

(4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、すべての件数)、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうち来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。

(5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。

(6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。

(7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。

16 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。

17 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日午後12時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2 (\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数 (小数第二位を四捨五入)}$$

18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。

19 「臨床病理検討会(CPC)の実施状況」欄について

(1)「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したCPCの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入する

- こと。
- (2) 「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
- (3) 「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「() 大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「() 病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- (1) 「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること。）。
- (2) 「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- (1) 「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他()」にその内容を記入すること。
- (2) 「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他()」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- (1) 「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「1. 中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「2. 各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2) 「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「1. 文書」、電子媒体により保存している場合には「2. 電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- (1) 「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (2) 「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
- (3) 「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「1. 有」に○をつけ、有さない場合には「0. 無」に○をつけること。
- 24 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷10）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数+報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（÷100）の双方とも記入すること。
- 25 「当該病院からの医師派遣実績」欄は、「加算する数値については、研修医の募集を行う年度の前年度末の時点で医師派遣等が行われている常勤の医師数が20人以上の場合を1とし、5人増える毎に1を加え、80人以上の場合を13」とする。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 28 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。
- 29 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている1年次及び2年次の合計が受入可能定員を超えないこと。
- 30 「研修医の募集及び採用の方法」欄について
- (1) 「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「1. 公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2) 「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類すべてに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (3) 「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するものすべてに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (4) 「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。
- (5) 「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「1. 有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「0. 無」に○をすること。
- 31 「研修医の処遇」欄について
- (1) 「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、2に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
- (2) 「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
- (3) 「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (4) 「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有

無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。

(5)「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。

(6)「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。

(7)「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。

(8)「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。

(9)「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和元年度開催回数 1回）

病院施設番号： 031739 臨床研修病院の名称： 京都山城総合医療センター

氏名	所属	役職	備考
フリガナ ナカイ イチロウ 姓 中井 姓 一郎	京都山城総合医療センター	院長	研修管理委員長
フリガナ イワモト カズヒデ 姓 岩本 姓 一秀	介護老人保健施設やましろ 京都山城総合医療センター	施設長兼副院長	協力型臨床研修施設研修実施責任者 臨床研修指導医
フリガナ アライ マサヒロ 姓 新井 姓 正弘	京都山城総合医療センター	副院長	臨床研修指導医
フリガナ イシハラ キヨシ 姓 石原 姓 潔	京都山城総合医療センター	副院長	研修プログラム責任者 臨床研修指導医
フリガナ イワモト ヨシヒロ 姓 岩本 姓 芳浩	京都山城総合医療センター	救急部長兼脳神経外科部長	臨床研修指導医
フリガナ カワサキ ユウジ 姓 川崎 姓 祐二	京都山城総合医療センター	事務局長	病院の事務部門の責任者
フリガナ タケダ アキコ 姓 竹田 姓 明子	宇治おうばく病院	医長	協力型臨床研修病院 研修実施責任者
フリガナ ヤマグチ タイジ 姓 山口 姓 泰司	山口医院	院長	外部委員
フリガナ カワムラ モトイ 姓 河村 姓 基	河村医院	院長	外部委員
フリガナ フクサワ サトエ 姓 福澤 姓 智栄	京都山城総合医療センター	事務局総務担当リーダー	
フリガナ ナカツル タツヤ 姓 中津留 姓 竜也	京都山城総合医療センター	事務局総務担当主事	

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称： 京都山城総合医療センター
 病院施設番号： 031739

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小児科	産婦人科	又は		精 神 科	その他の研修を行う診療科										合 計	
							産 科	婦 人 科		消化器内科	循環器内科	腎臓内科	脳神経内科	リウマチ科	消化器外科	呼吸器外科	整形外科	泌尿器科	脳神経外科		放射線科
年間入院患者実数 () 内は救急件数又は分娩件数	599	2,093 (11,356)	489		662	775 (393)				1,429	855	515	604	290	284	1,648	464	315	85		11,107
年間新外来患者数	1,271		395		3,530	815				13,601	6,325	12,561	5,605	5,507	1,907	1,648	7,804	6,667	1,400	1,953	70,989
1日平均外来患者数 () 内は年間外来診療日数	61.52 (240)	31.1 (365)	16.6 (240)		37.47 (240)	34.6 (240)				56.7 (240)	26.4 (240)	52.3 (240)	23.4 (240)	22.9 (240)	7.9 (240)	6.9 (240)	32.5 (240)	27.8 (240)	34.6 (240)	8.1 (240)	
平均在院日数	17.8		16.7		4.2	9.7				13.8	12.5	18.8	28.6	22.8	14.8	14.6	27.9	10.3	21.7		
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医)数)	4 (2)	1 (1)	4 (3)	3 (1)	4 (2)	3 (2)				4 (3)	3 (1)	3 (2)	3 (3)	2 (1)	2 (1)	1 (1)	2 (0)	3 (0)	1 (1)	4 (2)	47 (26)

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、11. の救急医療の実績の前年度の件数及び15. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※ 基幹型指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。(様式任意)

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(2020年度分)								臨床研修病院の名称： 京都山城総合医療センター						
								病院施設番号： 031739						
基幹型病院名	担当分野	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	11~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
京都山城総合医療センター	内科	2	2	2	2	2	2	2						
	救急部門	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	麻酔科								2	2				
	外科										2	2		
	産婦人科												2	2
	地域医療	2												
	精神科		2											
	小児科			2										

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(2021年度分)								臨床研修病院の名称： 京都山城総合医療センター						
								病院施設番号： 031739						
基幹型病院名	担当分野	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	11~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
京都山城総合医療センター	内科	2	2	2	2	2	2	2						
	救急部門	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	麻酔科								2	2				
	外科										2	2		
	産婦人科												2	2
	地域医療	2												
	精神科		2											
	小児科			2										

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(2022年度分)								臨床研修病院の名称： 京都山城総合医療センター						
								病院施設番号： 031739						
基幹型病院名	担当分野	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	11~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
京都山城総合医療センター	内科	2	2	2	2	2	2	2						
	救急部門	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	麻酔科								2	2				
	外科										2	2		
	産婦人科												2	2
	地域医療	2												
	精神科		2											
	小児科			2										

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

29. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 031739101病院施設番号： 031739 臨床研修病院の名称： 京都山城総合医療センター臨床研修病院群番号： _____ 臨床研修病院群名： 京都山城総合医療センター群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	京都山城総合医療センター初期臨床研修プログラム
2. 研修プログラムの特色	<p>●当院は京都府南部の中核となる公的病院で、幅広い疾患の患者を受け入れており、プライマリ・ケアにおいて、かたよりのない多彩な症例が経験できるとともに、各専門分野では、質の高い医療を学べる。</p> <p>●救急診療については、年間13,000件程度の救急を受け入れており、各科および多職種連携のもと、1次～3次の多彩な救急症例が経験できる。</p> <p>●選択科目については、研修医が自らのキャリアパスを主体的に考える中で、当院の診療科の中から自由に選択・変更できるように、意見を聞きながら柔軟に対応する。</p> <p>●地域医療においては、当院では、訪問看護分野について理解を深め、併設の介護老人保健施設「やましろ」においては、講義及び実務研修により、介護・看護・リハビリテーションを学ぶ。</p> <p>当院の行っている近隣山間部診療所支援に同伴し、視察研修を行う。また、地域包括ケア会議等に参加し、地域における課題を理解する。</p> <p>●優れた表現能力、研究能力を有する医師を養成するため、学会、研究会への積極的な参加を促し、少なくとも年に1回以上の学会発表を行うよう指導する。</p>
3. 臨床研修の目標の概要	<p>●医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に遭遇する疾患や外傷に適切に対応できるよう、基本的な診療能力（基本姿勢、態度、知識、技能）を身につける。</p> <p>●地域医療や各科の高度な医療を経験し、習得することはもとより、当院の基本理念である「地域の中核病院として、信頼される良質な医療を提供し、住民の健康維持・推進に貢献する」に基づき、地域の医療・介護職の教育、研修会及び住民向け院内行事等に参画することで、より地域住民と関わりを持ち、広い視野を持った医師として活躍できる能力を身につける。</p>
4. 研修期間	(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。 基本的には可能

5. 臨床研修を行う分野		研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間）			
		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
		* 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。			
(記入例) x x 科		1234567	〇〇 病院	〇週	〇週
必修科目・分野	内科	031739	京都山城総合医療センター	24週以上	2.4週
	救急部門		京都山城総合医療センター	12週以上	
	地域医療		老人健康保険施設やましろ	4週	一般外来 2週 在宅診療 2週
	外科		京都山城総合医療センター	4週以上	0.8週
	小児科		京都山城総合医療センター	4週以上	0.8週
	産婦人科		京都山城総合医療センター	4週以上	
	精神科	031737	宇治おうばく病院	4週	
	一般外来		京都山城総合医療センター	4週	
病院で定めた必修科目	麻酔科		京都山城総合医療センター	8週	
選択科目	消化器内科		京都山城総合医療センター	35週～ 40週	
	循環器内科		京都山城総合医療センター		
	腎臓内科		京都山城総合医療センター		
	脳神経内科		京都山城総合医療センター		
	生活習慣病内科		京都山城総合医療センター		
	リウマチ科		京都山城総合医療センター		
	放射線科		京都山城総合医療センター		
	外科		京都山城総合医療センター		
	脳神経外科		京都山城総合医療センター		
	整形外科		京都山城総合医療センター		
	泌尿器科		京都山城総合医療センター		
備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低88週 ※原則として、52週以上行うことが望ましい。 臨床研修協力施設での研修期間・・・最大8週 ※原則として、12週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。 研修プログラムに規定された4週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・約3回/月 救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4週※但し、4週を上限とする 一般外来の研修を行う診療科・・・内科、外科、小児科 ※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること					

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号

病院施設番号： 031739

臨床研修病院の名称： 京都山城総合医療センター

は、既に取得されている場合に記入してください。

臨床研修病院群番号：

臨床研修病院群名： 京都山城総合医療センター群

6. 研修スケジュール (一年次・二年次：いずれかに○)

プログラム番号 031739101

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。*1

(No. 1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野*2	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	11~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
凡例 ○×病院 (○×○×○×)	内科	5												
凡例 ▲■病院 (▲■▲■▲■)	外科	3												
凡例 △□病院 (△□△□△□)	外科		3											
京都山城総合医療センター (031739)	内科	2												
	救急部門	2												
	麻酔科								2					
	外科										2			
	産婦人科												2	

*1：臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

*2：「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

*3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号	病院施設番号： 031739	臨床研修病院の名称： 京都山城総合医療センター
は、既に取得されている場合に記入してください。	臨床研修病院群番号：	臨床研修病院群名： 京都山城総合医療センター群

6. 研修スケジュール（一年次 ~~二年次~~：いずれかに○） プログラム番号 031739101

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修 分野 * 2	1~	5~	9~	13~	17~	21~	25~	29~	33~	37~	41~	45~	49~
		4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
京都山城総合医療センター (031739)	小児科			2										
	消化器内科				2									
	消化器内科				2									
	循環器内科				2									
	腎臓内科				2									
	脳神経内科				2									
	生活習慣病内科				2									
	リウマチ科				2									
	放射線科				2									
	外科				2									
	脳神経外科				2									
	整形外科				2									
	泌尿器科				2									
宇治おうばく病院 (031737)	精神科		2											
老人健康保険施設やましろ	地域医療	2												

* 1：臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

* 2：「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

* 3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号： 031739 臨床研修病院の名称： 京都山城総合医療センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
外科	中井 一郎	京都山城総合医療センター	院長	39	○	全国自治体病院協議会、全国国民健康保険診療施設協議会共催「第59回新臨床指導医養成講習会」修了（H20.2.17）日本外科学会外科専門医・指導医・認定医	京都山城総合医療センター 初期臨床研修プログラム	4
地域医療 内科（神経内科）	岩本 一秀	協力型臨床研修施設 介護老人保健施設やましろ 京都山城総合医療センター	施設長兼 副院長	35	○	特定非営利活動法人VHJ機構主催「VHJ機構指導医養成講座」修了（H19.2.12）日本神経学会神経内科専門医・指導医、日本内科学会総合内科専門医・認定医・指導医、脳卒中学会専門医、日本臨床神経生理学会指導医・認定医	京都山城総合医療センター 初期臨床研修プログラム	3、4
放射線科	石原 潔	京都山城総合医療センター	副院長兼 放射線科部長	32	○	京都府医師会主催「第6回指導医のための教育ワークショップ」修了（H21.11.6）日本医学放射線学会専門医	京都山城総合医療センター 初期臨床研修プログラム	1、4
内科（消化器内科） 救急部門	新井 正弘	京都山城総合医療センター	副院長兼 消化器内科部長	31	○	全国自治体病院協議会、全国国民健康保険診療施設協議会共催「第83回臨床研修指導医養成講習会」修了（H22.3.7）消化器内視鏡学会専門医・指導医、消化器病学会専門医・指導医、日本肝臓学会肝臓専門医、日本内科学会認定医・指導医・総合内科専門医	京都山城総合医療センター 初期臨床研修プログラム	4
救急部門（脳神経外科）	岩本 芳浩	京都山城総合医療センター	救急部長兼 脳神経外科部長	30	○	全国自治体病院協議会、全国国民健康保険診療施設協議会共催「第124回臨床指導医養成講習会」修了（H27.8.2）日本脳神経外科学会脳神経外科専門医、日本救急医学会救急科専門医、日本脳卒中学会脳卒中専門医、日本脳卒中の外科学会技術指導医、日本リハビリテーション医学会認定臨床医	京都山城総合医療センター 初期臨床研修プログラム	4
内科（循環器内科） 救急部門	富安 貴一郎	京都山城総合医療センター	診療部長兼 循環器内科部長	28	○	全国自治体病院協議会、全国国民健康保険診療施設協議会共催「第89回臨床研修指導医養成講習会」修了（H23.1.16）循環器学会専門医、日本心臓血管インターベンション学会認定医・血管内治療実施医、日本循環器学会循環器専門医、日本内科学会認定医・指導医	京都山城総合医療センター 初期臨床研修プログラム	4
内科（腎臓内科） 病棟担当、救急部門	中谷 公彦	京都山城総合医療センター	腎臓内科部長	23	○	奈良県立医科大学附属病院主催「平成17年度奈良医大臨床研修指導医講習会」修了（H18.1.13）日本腎臓学会腎臓専門医・指導医、日本透析医学会透析専門医・指導医、日本リウマチ学会リウマチ専門医・指導医、日本内科学会認定医・指導医・総合内科専門医、死体解剖資格認定	京都山城総合医療センター 初期臨床研修プログラム	4
内科 救急部門	田邊 利朗	京都山城総合医療センター	消化器内科 副部長	17	○	慶応義塾大病院主催「第12回慶応義塾大病院臨床研修指導医養成ワークショップ」修了（H19.6.21）日本内科学会総合内科専門医・認定内科医・専門医、日本消化器病学会消化器病専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本がん治療認定医機構認定医	京都山城総合医療センター 初期臨床研修プログラム	4

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号： 031739 臨床研修病院の名称： 京都山城総合医療センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
内科（腎臓内科） 救急部門	浅井 修	京都山城総合医療センター	腎臓内科 副部長	19	○	京都府立医科大学附属病院主催「平成 28 年度第 10 回京都府立医科大学附属病院指導医講習会」修了（H29. 2. 19）、日本腎臓学会腎臓専門医・腎臓指導医、日本透析医学会透析専門医、日本リウマチ学会リウマチ専門医、日本内科学会指導医・総合内科専門医・認定医	京都山城総合医療センター 初期臨床研修プログラム	4
内科（リウマチ科）救急部門	村上 憲	京都山城総合医療センター	リウマチ科 部長	14	○	京都府医師会主催「第 13 回指導医のための教育ワークショップ」修了（H28. 10. 23）日本リウマチ学会リウマチ専門医、日本内科学会認定内科医	京都山城総合医療センター 初期臨床研修プログラム	4
内科（生活習慣病内科）救急部門	堤 丈士	京都山城総合医療センター	糖尿病・代謝 内科副部長	16	○	全国自治体病院協議会、全国国民健康保険診療施設協議会共催「第 143 回臨床研修指導医養成講習会」修了（H30. 1. 14）日本循環器学会循環器専門医、日本糖尿病学会専門医、日本心血管インターベンション治療学会認定医・専門医、日本内科学会指導医・認定医・総合内科専門医、日本禁煙学会禁煙サポーター	京都山城総合医療センター 初期臨床研修プログラム	4
内科（消化器内科）救急部門	川端 利博	京都山城総合医療センター	消化器内科 医長	14	○	全国自治体病院協議会、全国国民健康保険診療施設協議会共催「第 137 回臨床研修指導医養成講習会」修了（H29. 2. 26）日本消化器病学会消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、日本消化管学会胃腸科専門医、日本肝臓学会肝臓専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本内科学会総合内科専門医・認定医	京都山城総合医療センター 初期臨床研修プログラム	4
病理担当	森永 友紀子	京都山城総合医療センター	非常勤医	13	×	細胞診専門医、病理専門医、死体解剖資格認定	京都山城総合医療センター 初期臨床研修プログラム	
外科（消化器外科）救急部門	中田 雅支	京都山城総合医療センター	消化器外科 部長	37	○	全国自治体病院協議会、全国国民健康保険診療施設協議会共催「第 114 回臨床指導医養成講習会」修了（H26. 1. 19）日本外科学会外科専門医・指導医・認定医、日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医・認定医、消化器がん外科治療認定医	京都山城総合医療センター 初期臨床研修プログラム	4
外科（消化器外科）救急部門	糸川 嘉樹	京都山城総合医療センター	診療部長	26	○	京都第一赤十字病院主催「第 1 回京都第一赤十字病院臨床研修指導医養成講習会」修了（H22. 2. 7）日本外科学会外科専門医、日本がん治療認定医機構認定医	京都山城総合医療センター 初期臨床研修プログラム	4
外科（呼吸器外科）救急部門	伊藤 和弘	京都山城総合医療センター	外科部長兼 呼吸器外科部長	25	○	全国自治体病院協議会、全国国民健康保険診療施設協議会共催「第 66 回新臨床研修指導医養成講習会」修了（H20. 12. 21）日本呼吸器外科学会呼吸器外科専門医、日本胸部外科学会認定医、日本外科学会外科専門医・指導医・認定医	京都山城総合医療センター 初期臨床研修プログラム	4
小児科	内藤 岳史	京都山城総合医療センター	小児科 主任部長	25	○	社団法人日本小児科学会主催「第 5 回小児科医のための臨床研修指導医講習会」修了（H23. 1. 9）日本小児科学会小児科専門医、日本小児神経学会小児神経専門医	京都山城総合医療センター 初期臨床研修プログラム	4

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 病院施設番号： 031739 臨床研修病院の名称： 京都山城総合医療センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
産婦人科	澤田 重成	京都山城総合医療センター	産婦人科医員	34	○	京都府医師会主催「第6回指導医のための教育ワークショップ」修了（H21.11.6）日本産婦人科学会産婦人科専門医・暫定指導医	京都山城総合医療センター 初期臨床研修プログラム	4
麻酔科	松本 裕則	京都山城総合医療センター	麻酔科部長 兼手術部長	27	○	京都府立医科大学附属病院主催「平成20年度第2回京都府立医科大学附属病院指導医講習会」修了（H21.2.22）日本麻酔科学会麻酔科指導医・専門医、日本ペインクリニック学会認定医・専門医、日本医師会医療安全推進者、日本体育協会スポーツドクター、ICD制度協議会インフェクションコントロールドクター	京都山城総合医療センター 初期臨床研修プログラム	4
内科（脳神経内科） 地域医療	大島 洋一	京都山城総合医療センター	脳神経内科部長	22	○	全国自治体病院協議会、全国国民健康保険診療施設協議会共催「第143回臨床研修指導医養成講習会」修了（H29.7.26）日本神経学会指導医・神経内科専門医・認定内科医	京都山城総合医療センター 初期臨床研修プログラム	4
小児科	和泉 守篤	京都山城総合医療センター	小児科副部長	23	○	特定非営利活動法人VHJ機構主催「VHJ機構指導医養成講座」修了（H20.10.3）日本小児科学会小児科専門医	京都山城総合医療センター 初期臨床研修プログラム	4
小児科	加納 原	京都山城総合医療センター	小児科部長	25	○	京都府立医科大学附属病院主催「平成29年度11回京都府立医科大学附属病院指導医講習会」修了（H29.12.27）日本小児科学会小児科専門医、日本血液学会血液専門医、日本感染症学会インフェクションコントロールドクター	京都山城総合医療センター 初期臨床研修プログラム	4
内科（脳神経内科）	向井 麻央	京都山城総合医療センター	脳神経内科医長	14	○	京都府医師会主催「第6回指導医のための教育ワークショップ」修了（H30.10.18）日本神経学会神経内科専門医、日本老年老医学会老年病認定医	京都山城総合医療センター 初期臨床研修プログラム	4
がん診療兼 化学療法	小池 浩志	京都山城総合医療センター	がん診療部長兼 化学療法部長	26	○	京都府立医科大学附属病院主催「平成30年度12回京都府立医科大学附属病院指導医講習会」修了（H30.1.7）日本消化器外科専門医・認定医	京都山城総合医療センター 初期臨床研修プログラム	4
放射線科	会田 和泰	京都山城総合医療センター	放射線科医長	17	○	京都府立医科大学附属病院主催「平成23年度5回京都府立医科大学附属病院指導医講習会」修了（H24.2.5）日本脳神経外科学会脳神経外科専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医	京都山城総合医療センター 初期臨床研修プログラム	4
産婦人科	北岡 由衣	京都山城総合医療センター	産婦人科部長	22	○	京都府立医科大学附属病院主催「令和元年度13回京都府立医科大学附属病院指導医講習会」修了（R2.1.26）日本産婦人科学会産婦人科専門医・指導医	京都山城総合医療センター 初期臨床研修プログラム	4

- ※ 「担当分野」欄には、様式 10 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。
 - ※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
 - ※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
 - ※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
 - ※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
- * 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
- * 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
- ※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
 - ※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

7. 病院群の構成等

別表

基幹型又は地域密着型病院の名称（所在都道府県）： 京都山城総合医療セン（ 京都府 ）

基幹型又は地域密着型病院				協力型病院					臨床研修協力施設					研修プログラム			
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員		
京都府	山城南	(病院施設番号：031739)		京都府	山城北		宇治おうばく病院 (病院施設番号：031737)		京都府	山城南		介護老人保健施設やましろ (病院施設番号：)		京都山城総合医療センター 初期臨床研修プログラム	2		
							(病院施設番号：)						(病院施設番号：)				
							(病院施設番号：)							(病院施設番号：)			
							(病院施設番号：)							(病院施設番号：)			
							(病院施設番号：)							(病院施設番号：)			
							(病院施設番号：)							(病院施設番号：)			
							(病院施設番号：)							(病院施設番号：)			
							(病院施設番号：)							(病院施設番号：)			
							(病院施設番号：)							(病院施設番号：)			
							(病院施設番号：)							(病院施設番号：)			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、地域密着型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※ 当該病院群に係るすべての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。